

基本計画・施策点検結果概要

前期基本計画の振り返りとして実施した基本計画・施策点検における個別施策に対する評価結果を、次のとおり戦略事業の柱別に集約した。

事業評価については3段階（A・B・C）のうち概ねA・Bのいずれかとなっているが、「5 地域の特性を活かした産業による交流が活発なまち」においてはBが多い。

今後の方向性についてみると、継続という回答が多数を占めているが、一部「4 将来を見据えた社会基盤と環境のバランスがとれたまち」において見直し、廃止（統合）が見られる。

柱	事業評価		今後の方向性	
	A	B	継続	見直し
1 地域がつながり地域で育むまち (協働・教育・文化)	A	13	継続	28
	B	14	見直し	0
	C	1	廃止	0
2 みんなが笑顔になれるまち (子育て・健康・福祉)	A	10	継続	20
	B	10	見直し	0
	C	0	廃止	0
3 みんなで取り組む安全・安心のまち (安全・安心)	A	12	継続	15
	B	3	見直し	0
	C	0	廃止	0
4 将来を見据えた社会基盤と環境のバランスがとれたまち (社会基盤・環境)	A	12	継続	32
	B	24	見直し	1
	C	0	廃止	3
5 地域の特性を活かした産業による交流が活発なまち (農業・商業・工業、観光)	A	1	継続	13
	B	12	見直し	1
	C	1	廃止	0
6 計画を実現できるまち (行財政運営、広域行政)	A	9	継続	9
	B	0	見直し	0
	C	0	廃止	0
合計	A	57	継続	115
	B	63	見直し	2
	C	2	廃止	3

※事業評価におけるA・B・Cの基準

A … 計画以上の成果や進捗があった

B … おおむね計画どおり

C … 計画どおり実施できていない、計画より遅れている

※今後の方向性における継続・見直し・廃止の基準

継続…変更なく継続して「施策」として位置づけるべき（一部、取組や事務事業を組み替える場合も含む）

見直し…施策の名称や内容など、全面的に見直すべき

廃止…「施策」として位置づけるべきでない（他の施策に取り込む場合も含む）

※1つの個別施策について複数課が回答しているものは、各課の結果を合計して掲載しています。そのため総数が個別施策の合計とあわない場合があります。

○事業評価における C 評価の個別施策（2件）

柱	分野	施策	個別施策(施策の方向)	これまでの施策の評価	今後の方向性
地域がつながり 地域で育むまち	協働	自治活動	自治活動の支援	自治会からの参加要請に 応じて、自治会担当職員 が自治会活動へ参加し た。また、担当自治会内 の地域内巡視の実施や、 自治会を円滑に運営す るため補助金等の交付を 行ったが、自治会加入率 の増加にはつながらな かった。	自治会との協働による地 域活性化を標榜し、自治 会加入率を維持、向上さ せるために必要なより具 体的な方法等で、自治活 動を支援する必要がある。 る。
地域の特性を活 かした産業によ る交流が活発な まち	観光	観光	インバウンド対策の推進	新型コロナウイルス感染 症拡大の影響により、一 時はインバウンド需要が 低迷し、国内需要の増加 に重点を置いた取り組み を実施してきた。 交流体験事業のPR活動を 行う中で、外国人向けの メニューなどのインバウ ンド需要の回復基調や可 能性の把握を行った。	国内需要と海外需要の把 握と、民泊を含めた交流 体験事業の受入確保に向 けた環境と受入体制の整 備が必要である。

○今後の方向性における「見直し」の個別施策（2件）

柱	分野	施策	個別施策(施策の方向)	これまでの施策の評価	今後の方向性
将来を見据えた 社会基盤と環境 のバランスがと れたまち	社会基盤	道路・水路	幹線道路の整備	都市計画道路について は、県や関係機関との協 議及び調整により、順調 に整備が進んでいる。ま た、町が取得すべき用地 も、計画どおり取得が進 んでいる。 「町道4・5号線」の県道 昇格については、実現の 見込みがない状況であ り、第2次実施計画で廃 止した。	引き続き都市計画道路の 早期完成を推進する必要 がある。 「町道4・5号線」の県道 昇格については、第2次 実施計画で事業を廃止し ているが、町道4号線の 交通量増加に伴う安全対 策の検討を進めていく。
地域の特性を活 かした産業によ る交流が活発な まち	農業・商業・ 工業	商業・工業	企業誘致の推進	県が事務局を務める企業 誘致促進協議会に加入し 情報収集に努めている が、企業のニーズに見合 うような適地がないた め、誘致につながってい ない。	適地が少ない現状では、 積極的に誘致活動を行う ことは困難であり、施策 の方向について検討する 必要がある。

○今後の方向性における「廃止（統合）」の個別施策（3件）

柱	分野	施策	個別施策(施策の方向)	これまでの施策の評価	今後の方向性
将来を見据えた社会基盤と環境のバランスがとれたまち	社会基盤	市街地の整備	新たな市街地の整備	大井中央土地区画整理事業が完了し、同事業地内では、宅地造成及び分譲、開発の推進により、住宅建設が進んでいる。	大井中央地区土地区画整理事業が完了し、住宅地も概ね形成された。今後予定している市街地整備もないため、廃止とする。 土地区画整理事業により、道路や公園などの整備が行われた大井中央地区については、良好な居住環境を維持する必要がある。また、都市計画道路の整備の進捗に伴い、広域交通ネットワークの効果を活かした周辺環境との調和ある適切な土地利用を検討する。 ※地区計画の運用は、「地域特性に配慮した住環境整備」の中で推進する。
将来を見据えた社会基盤と環境のバランスがとれたまち	社会基盤	道路・水路	水路の整備	既存水路の老朽化に伴う補修及び堆積土砂撤去等、計画的に維持管理を実施した。 JR御殿場線と交差する水路については、鉄道事業者との協議再開が困難な中、即効性のある安全対策の検討を行った。	水路の整備については、引き続き計画的に補修や維持管理を行っていく。 JR御殿場線と交差する水路の改善については、即効性のある安全対策を検討・実施していくとともに、鉄道事業者との協議再開時期を見定めつつ、引き続き協議を行っていく。 また、水路の整備については、道水路整備事業として道路の整備と一体として事業を実施しているため、道路の整備と統合することとし、本施策は廃止としたい。
将来を見据えた社会基盤と環境のバランスがとれたまち	社会基盤	地域公共交通	公共交通の利便性向上と利用促進	適切に駐輪場の管理を行った。	都市整備課としては、引き続き駐輪場の適正管理は行うものの、そもそも総合計画に組み込む程の事項ではないと考えるため都市整備課に関する部分は廃止。